

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-7111(通話料無料)
[手続き書類のご請求方法]	音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6412/6412.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

■お知らせ

- (1)株主様の住所変更、単元未満株式等の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社等)を経由してお届出いただいております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「めぞん一刻オリジナルUSBカイロ」を進呈させていただきます。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6412

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

HEIWA INTERIM BUSINESS REPORT 2012

第44期 中間報告書 2011.04.01~2011.09.30



HEIWA

「多様な出玉性能とゲーム性に富んだ遊技機を開発するとともに、新しい収益の柱となる事業開拓にも取り組んでまいります。」



代表取締役社長

石井 保孝

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループの第44期第2四半期(2011年4月1日~2011年9月30日)の事業の概況と決算についてご報告いたします。

Q1 当第2四半期の事業環境はいかがでしたか?

2010年のパチンコホール業の市場規模^(注1)は、エンドユーザーの遊技回数の減少や、低貸玉営業の普及に伴う売上高の減少等により、前年比8.0%減少し19.3兆円となりました^(注2)。また、遊技参加人口は、近年増加傾向にありましたが、長引く景気低迷の影響もあり前年比2.9%減少し1,670万人となりました^(注3)。

パチンコホールにおいては、東日本大震災の影響により、遊技機の入替や広告宣伝活動の自粛、営業時間の短縮が実施されたことに加え、震災後の自粛ムードの高まりから一時的な集

グラフ1 ● パチンコホール業の市場規模



出所：(財)日本生産性本部「レジャー白書 2011」

客や稼働の落ち込みがあったものの、その後は自粛ムードの解消とともに集客や稼働は回復傾向で推移しております。また、今夏の節電対策の一環として、東京電力・東北電力管内のパチンコホールを中心に実施された輪番休業により、集客や稼働への影響が懸念されましたが、限定的な影響にとどまりました。

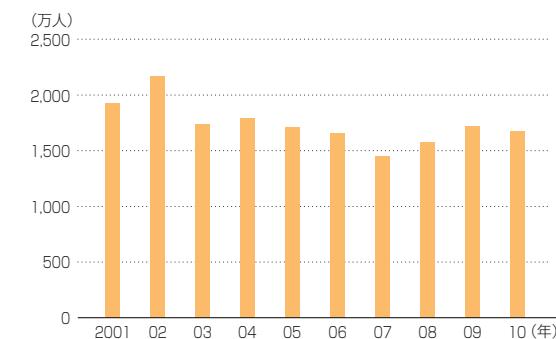
遊技機の販売動向においては、震災直後の遊技機の入替自粛に加え、パチンコホールは収益性の低下から、安定した稼働が期待できる遊技機を厳選して導入する傾向を強めており、パチンコ機の新台幣入替需要は低調に推移いたしました。他方、パチスロ機においては、稼働の回復傾向が継続していることから、新台幣入替需要は旺盛に推移いたしました。

(注1) 貸玉料・貸メダル料の総額

(注2)、(注3) (財)日本生産性本部「レジャー白書2011」より

(注4) 通期の業績予想数値は、2011年11月29日に公表したPGMホールディングス株式会社に対する公開買付け結果について見込んでおりません。

グラフ2 ● 遊技参加人口



Q2 当第2四半期の業績についてはいかがでしょうか?

当第2四半期の業績は、売上高44,779百万円、営業利益15,198百万円、経常利益20,079百万円、四半期純利益13,525百万円となりました。

売上高については、前年同期とほぼ同水準となりましたが、利益面については、部品のリユースを中心とした原価低減を推進したことにより大幅な増益となりました。

通期の業績は、10月に業績予想の修正を発表し、売上高75,600百万円、営業利益17,000百万円、経常利益27,700百万円、当期純利益20,000百万円を見込んでおります^(注4)。

売上高については、今後の市場環境及び足元の販売動向を勘案し、通期の販売計画を下方修正したため、当初予想を下回る

見込みですが、利益面については、第2四半期の業績が高い利益水準で推移していることから、当初予想を上回る見込みです。

Q3 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

遊技機業界は、遊技参加人口やパチンコホール数の長期減少傾向が続いており、厳しい環境で推移しております。そのような環境下、当社グループは、多様な出玉性能、ゲーム性等を兼ね備え、多くのエンドユーザーの皆様へ支持される遊技機の開発に取り組むとともに、これらの製品を継続的に市場へ提供することで、通期

販売目標の達成に向けて取り組んでまいります。

また、当社は、厳しい経営環境に対応すべく、新しい収益の柱となり得る事業の構築を目的として、10月から11月まで国内最大級のゴルフ場運営会社であるPGMホールディングス株式会社の株券等の公開買付けを実施いたしました(4頁参照)。

なお、2012年3月期の中間配当については、当初予想のとおりに1株につき25円とし、期末配当についても25円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

Business Review ● 事業の概況

パチンコ機

当第2四半期においては、「ラブ嬢」、「戦国乙女2」、「ぱちんこRio」等を発売し、販売台数93千台、売上高は29,119百万円となりました。

New Machine

戦国乙女2

2008年にヒットした「戦国乙女」が、演出やゲーム性をさらにパワーアップして帰ってきた！戦国時代を舞台に14人の美しい武将たちがアツいバトルを繰り広げます。また、本機は携帯と連動した新システム「ダーウィン」の初搭載機としても注目を集めました。



パチスロ機

当第2四半期においては、「パチスロ鉄拳伝タフ 2nd ROUND」、「蝶々乱舞」、「ぱちすろ黄門ちゃま 光れ！正義の印籠編！」等を発売し、販売台数52千台、売上高は15,385百万円となりました。

New Machine

「ぱちすろ黄門ちゃま 光れ！正義の印籠編！」パチンコ機で人気を博した「黄門ちゃま」がパチスロ機となって登場！ぱちんこゾーンや確変を搭載するなど、パチンコをモチーフにした演出が出玉の期待感を高めます。



©C.A.L/2011

ゴルフ場運営会社大手 PGMホールディングス株式会社 に対する公開買付けを実施

当社は2011年10月26日開催の取締役会において、PGMホールディングス株式会社を当社の連結子会社とすることを目的として、同社の株券等を公開買付けにより取得することを決議いたしました。

公開買付けの概要

買付期間	2011年10月27日から2011年11月28日まで(21営業日)	
買付価格	普通株式	1株につき52,000円
	新株予約権*	1個につき1円
	新株予約権付社債	1個(額面500万円)につき1,523,281円
買付条件	上限	なし
	下限	625,243株(株式所有割合50.1%)

※第4回、第5回、第7回、第8回



PGMホールディングス株式会社の概要

PGMホールディングス株式会社は、2004年12月にゴルフ場の保有・運営を主たる事業とする子会社の株式を保有する持株会社として設立し、それ以降、経営破綻したゴルフ場の取得を積極的に行い、事業を拡大してまいりました。2006年12月期末には、保有・運営ゴルフ場数が100を超え、国内最大級のゴルフ場運営会社に成長し、安定した収益性を実現しております。



名称	PGMホールディングス株式会社(東証1部:2466)
所在地	東京都港区高輪一丁目3番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 氏家 顕太郎
事業内容	ゴルフ場の保有・運営を事業とする子会社の株式保有
資本金	127億8百万円(2011年9月30日現在)
設立年月日	2004年12月9日

最近3年間の業績

(単位:百万円)

	2008年 12月期	2009年 12月期	2010年 12月期
営業収益	79,215	82,335	79,519
営業利益	12,845	12,914	11,552
経常利益	9,873	10,486	7,846
当期純利益	10,723	8,633	15,297

演出・キャラクター・遊びやすさに 徹底的にこだわった『めぞん一刻～桜の下で～』

現在でも多くのファンをもつパチンコ機『めぞん一刻』。この『めぞん一刻』の後継機として、2012年1月『めぞん一刻～桜の下で～』が、いよいよパチンコホールに登場します。

今回は『めぞん一刻～桜の下で～』の開発スタッフに開発段階のエピソードなどを語ってもらいました。

ファンの声に耳を傾けた 人気機種の後継機開発

—『めぞん一刻～桜の下で～』開発の経緯を聞かせてください。

志村●最初の企画から製品の完成までには、約2年の月日がかかっています。開発プロセスとしては異例のことなんですけど、実は『めぞん一刻』については、前作が発表される前から後継機の開発が決まっていたんですよ。

布施●前作がパチンコファンの皆さんから高い評価を得ていたこともあって、我々スタッフにも「前作を超えなくては」というプレッシャーはありましたね。そのためにも前作や原作コミックのファンの皆さんへ、好きなキャラクターや好きなエピソードなどをアンケートでリサーチし、その意見を開発の参考にしました。

飯田●アンケートのご意見でも原作の象徴的なモチーフとして「桜」が多く挙げられていたのですが、盤面デザインにもこう



プロジェクトリーダー 志村 寿隆

いった声を活かしています。

福島●アンケートの結果は開発スタッフの意見と大部分が重なっていたので、開発への自信にも繋がりましたね。

前作を超える魅力が詰まった 「ウエディングロード」

—開発時に力を注いだところ、苦労したところはどこですか？

布施●前作の良い部分は継承し、そこにいかに新しい要素を盛り込んでいくかということが課題でしたね。

志村●具体的には、大当たりが継続すること、主人公である音無響子と五代裕作のラブストーリーが進展していく「ウエディングロード」が前作の大きな特徴なんですけど、この仕様は継承しつつ、よりパワーアップしたものになりたいと思っていました。

飯田●私は前作の盤面デザインも手がけたんですが、盤面でもこの「ウエディングロード」をさらに盛り上げる構成を目指しました。

福島●「ウエディングロード」は前作では全10話で展開していた



構成管理担当 布施 和哉



映像企画担当 福島 大輔

のですが、本機では全25話とエピソードが2.5倍になっています。演出も多彩になったことで、アニメーションが大幅に増えた分、映像制作はかなり大変でした。ときには他のスタッフに迷惑をかけることもありましたが、満足できる仕上がりになったと思っています。

布施●映像関連ではキャラクターデザインも進化しています。前作では原作に忠実に八頭身のキャラクターのみの登場だったんですが、本機では演出にメリハリをつけるために三頭身にデフォルメしたキャラクターも登場させました。

福島●原作がラブストーリーということもあり、本機は他機種に比べて独特の世界観をもっています。リーチ、サウンド、光などパチンコ機としての演出は追求しつつ、この世界観をいかに守っていくかという部分は苦労しましたね。

志村●本機は主に女性をターゲットにしているんですが、ご覧の通りスタッフは全員男性なので(笑)。女性に受け入れていただ



盤面デザイン担当 飯田 洋行





ける仕様・デザインにするのはやはり苦勞しましたね。

志村●個人的には、今回のプロジェクトチームは、各担当が自分の仕事に専念できる環境を維持しながらも、しっかりと同じ方向を向いた、いいチームだったと思っています。開発段階で大変なこともありましたが、そのことがより連帯感を高めてくれたのではないかなと思っています。

—開発を進めていくなかで、一番印象に残っていることは何ですか？

布施●実はキャラクターは前作とも原作とも違う、現代にマッチしたものにすべて一新しているんです。このキャラクターを完成させるのに試行錯誤を繰り返したこともあり、実際にアニメーションができあがったときは、そのクオリティの高さに、スタッフ全員から「おーっ」と声が上がったんですよ。

福島●このときは今までの苦勞が報われましたね。

ストーリーを楽しみながら 長く打ち続けられる機種

—最後に『めぞん一刻～桜の下で～』の楽しみ方を聞かせてください。

飯田●本機は大当たり時に右打ちをする仕様になっているんですが、この仕様をうまく活かして「気持ち良くプレイできる」盤面デザインができたと思っています。あとは大当たり演出のカギとなる桜フラッシュにも注目してほしいですね。

布施●ぜひ「ウエディングロード」のラストエピソード「P.S.一刻館」をパチンコホールで見たいですね。ほかのパチンコ機では得ることのできない感動をきっと味わっていただけたと思います。

福島●開発スタッフとして「つくってよかったな」と思える、何度打っても飽きのこないパチンコ機ができたかと自負しています。

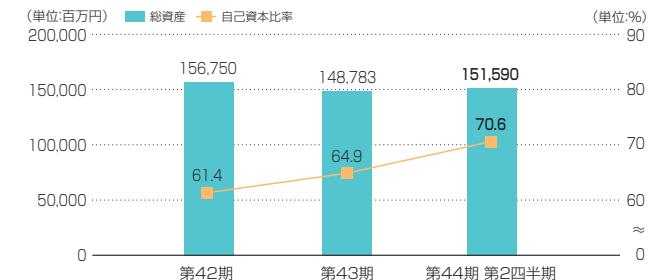
志村●そうですね。前作のファンの皆さんにもきっと満足してもらえる、新しい『めぞん一刻』ストーリーを、ぜひパチンコホールで体感してください。

四半期連結貸借対照表

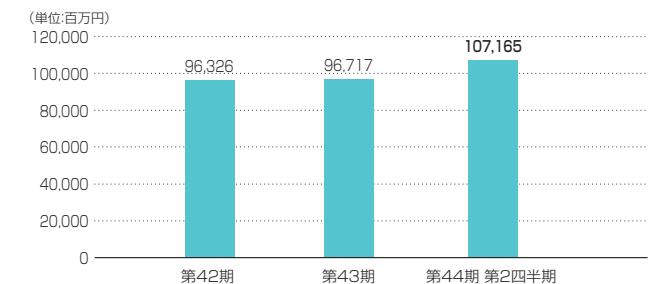
(単位:百万円)

科目	第43期 (2011年3月31日現在)	第44期 第2四半期 (2011年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	88,439	92,376
固定資産	60,343	59,213
有形固定資産	30,079	29,700
無形固定資産	85	72
投資その他の資産	30,178	29,441
資産合計	148,783	151,590
負債の部		
流動負債	34,918	31,884
固定負債	17,146	12,539
負債合計	52,065	44,424
純資産の部		
株主資本	96,338	106,907
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,063	53,066
利益剰余金	42,410	52,950
自己株式	△15,890	△15,865
その他の包括利益累計額	275	150
新株予約権	102	108
純資産合計	96,717	107,165
負債純資産合計	148,783	151,590

総資産／自己資本比率



純資産



四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第43期第2四半期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	第44期第2四半期 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
売上高	43,488	44,779
売上原価	23,377	19,001
売上総利益	20,111	25,778
販売費及び一般管理費	11,629	10,579
営業利益	8,481	15,198
営業外収益	4,815	5,122
営業外費用	144	241
経常利益	13,152	20,079
特別利益	18	0
特別損失	138	18
税金等調整前四半期純利益	13,032	20,061
法人税等	3,537	6,535
少数株主損益調整前四半期純利益	9,495	13,525
少数株主利益	-	-
四半期純利益	9,495	13,525

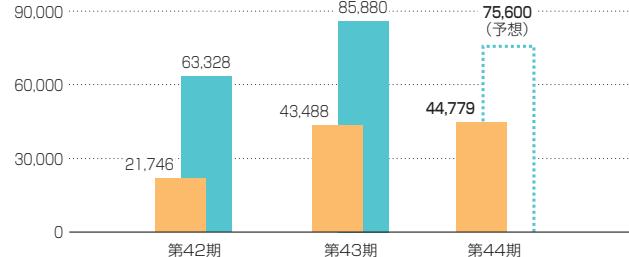
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第43期第2四半期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	第44期第2四半期 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,573	6,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,165	△28,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,695	△3,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,286	△24,706
現金及び現金同等物の期首残高	38,971	42,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,684	17,700

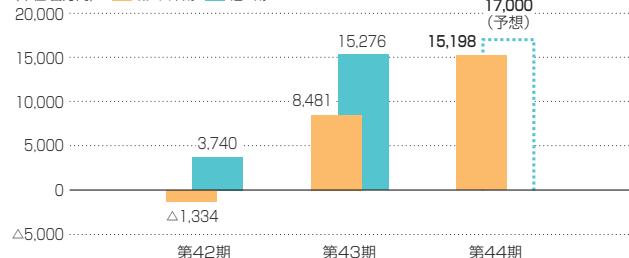
売上高

(単位:百万円)



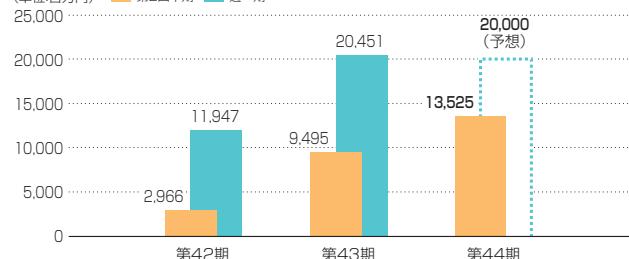
営業利益

(単位:百万円)



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



(2011年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社 平和
(英文社名:Heiwa Corporation)

本社 〒110-0015
東京都台東区東上野二丁目22番9号

URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

創業 1949(昭和24)年

設立 1960(昭和35)年

資本金 167億5,500万円

役員
 代表取締役社長 石橋 保彦
 代表取締役副社長 嶺井 勝也
 専務取締役 諸見里 敏啓
 常務取締役 町田 徹
 取締役 吉野 敏男
 取締役 池本 泰章
 常勤監査役 川野 廣二
 監査役 佐藤 武志
 監査役 遠藤 明哲
 監査役 山田 公之

事業内容

パチンコ機の開発・製造・販売
パチスロ機の開発・製造・販売

事業所

本社、工場(伊勢崎)、北海道、仙台、高崎、東京、名古屋、大阪、広島、福岡 他20営業所

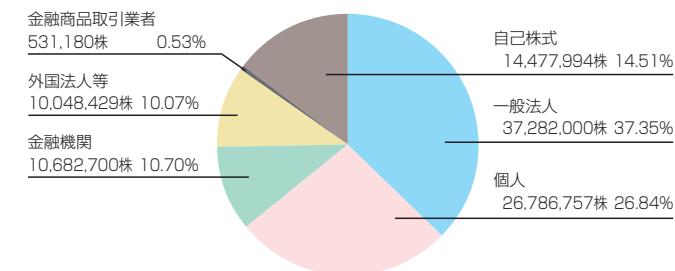
取引銀行

みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行

株式の状況

発行可能株式総数 228,903,400株
発行済株式の総数 99,809,060株
株主数 13,816名

株式の所有者別状況



株価チャート(月足)

